

1. 平成29年度活動記録・実績

(1) 活動記録

● 第1回（3／24（金）） ● 第2回（5／22（月）） ● 第3回（8／28（月）） ● 第4回（12／6（水）） ● 第5回（3／9（木））

- | | | | | |
|---------------|--|---|---------------------------------------|---------------------------|
| • 意見交換会の趣旨等説明 | • 地域課題解決に向けた民間企業・NPO・大学・銀行等の取組の横断的マッチングイベントの紹介等について意見交換を実施 | • 観光産業では手の届かない分野でのNPO団体、地域団体が持っている誘客活動の発掘・分析・発信等について意見交換を実施 | • 地域づくりハンズオン支援事業（東北における事業型NPOのビジョン策定） | • 岩手三陸地域における関係人口の増加に向けた調査 |
| | | | • 岩手三陸地域における関係人口の増加に向けた調査等について意見交換を実施 | • 来年度意見交換会等について意見交換を実施 |

(2) ラグビーワールドカップ2019釜石開催PR

- ラグビーワールドカップ2019 2年前イベントへの参画
復興状況のパネル展示及び各団体の活動内容の説明、事業内容紹介のパンフレットの配布などを行った。
- 共創力で進む東北プロジェクト「FW:東北Weekly」を活用した情報発信
首都圏で釜石開催の情報発信を行うと共に、釜石・東北ならではのおもてなしやインバウンド対策について課題提案を行い、アイデアソンを通じて「おもてなし」の仕組みを共創した。
- 三陸産直市を活用した情報発信
JR上野駅で開催された「三陸産直市」において、釜石市と共に観光PRブースとイベントコーナーにおいて釜石開催のPRを行った。

(3) 平成29年度岩手三陸地域における関係人口の増加に向けた調査 概要

民泊、漁農業等の産業体験、研修学習など「観光産業では手の届かない分野でのNPO団体、地域団体が行っている誘客活動の促進」に資するよう、調査・分析、普及・展開、提案を行うことを目的とした調査を実施した。

2. 平成30年度活動の方向性

- 意見交換会の目的を、復興庁事業の各メンバーへの紹介、メンバー間での情報共有を行うことで、情報共有・課題解決の窓口としての取組と位置づける。
- メンバーによる「新しい東北」官民連携推進協議会の週次の交流の場（Fw:東北Weekly）への関与等を行い、具体的な課題解決の実践を通した課題解決に向けた連携の事例を創出する。

第1回（6月）

- 今年度の各メンバーの活動の紹介
- 今年度議論するテーマの決定
- Fw:東北Weeklyに向けた今後の進め方の整理

第2回（9～11月）（予定）

- 各メンバーの最近の活動の紹介
- テーマについての議論
- Fw:東北Weeklyの設計

Fw:東北Weeklyの実施

「新しい東北」交流会での活動状況紹介

第3回（1～3月）（予定）

- 各メンバーの最近の活動の紹介
- テーマについての議論（Fw:東北Weeklyの振り返りを含む。）
- 次年度の活動方針の議論

※ 議論の状況に応じ、各回の間に事務局からの連絡、意見交換会の追加の可能性がある。

3. 平成30年度のテーマ案

● 昨年度報告書の提案

- 平成29年度第5回の意見交換会においては、平成30年度の意見交換会のテーマについて、調査事業の報告により、岩手三陸地域の関係人口の増加に関する6つの提言がなされた。
- 平成30年度第1回の意見交換会においては、下記の提案を整理することを土台に、平成30年度に扱う課題を議論、決定する。

① 広域・大型イベントを軸としたネットワーク構築・連携促進

- 予定される広域・大型イベント
 - 「三陸防災復興プロジェクト2019」、「ラグビーワールドカップ2019」等
 - 交通インフラ整備、地域の注目度急上昇、国内外からの来訪者急上昇が見込まれるこの機会、コンテンツ・顧客づくりを行う好機

具体的な実施事項

- 各NPO等団体のコンテンツの内容充実
- 団体同士の連携強化の取組
- 来訪者の周遊・回遊を促す広域コンテンツ開発

④ 地域外での交流会等の開催

- 地域外での交流の維持・拡大
 - 東京等大都市圏での接点づくりは関係性維持やコンテンツ利用者開拓に有効
 - アイデアソンや体験イベントも加えた既存の復興庁事業は、関係性の維持拡大に加えてNPO等が新たな気づきを得られる場としても有効

具体的な実施事項

- 既存の取組（れんぶく、各NPO等）の継続
- 復興庁事業（Fw：東北Weekly等）の活用

② 広域地域資源（三陸ジオパーク）の活用

- 「三陸ジオパーク」を軸とした連携プログラム・コンテンツ組成の検討
 - 日本最大のジオパーク。2019年の再審査に向け、地域一体での体制・コンテンツ再構築が必要な状況
 - 地域の大学でのWSや面的ストーリー開発の研究等、産官学の様々な取組実績あり

具体的な実施事項

- 推進体制再構築
- 産学官の連携促進
- コンテンツ再構築

③ プラットフォームの設置・活用

- これまでの情報発信の実態
 - 個々のNPO等がバラバラにウェブサイト・SNS、チラシ配布等により情報発信を実施
 - コンテンツ開発・コーディネートと、誘客受け入れ窓口の分離により誘客効果を高める必要あり

具体的な実施事項

- プラットフォームの設置（販売管理・データ集約・分析→戦略策定）
- 既存プラットフォームへの特集ページ掲載

⑤ インバウンドの誘客活動拡大

- 既存の関連事業成果
 - 復興庁「交流拡大モデル事業」では、国内外の外国人誘客事業開発支援を実施。2017年度は11事業者のプログラム開発を支援
 - 復興庁岩手復興局「岩手県を中心とした北東北インバウンド誘客推進調査・検討業務(2017年度)」では、コンテンツ拡充・情報発信土台構築等を実施

具体的な実施事項

- 既存事業からの知見共有・反映
- 国際会議等からの誘客試行

⑥ クラウドファンディング（CF）活用

- これまでのNPO等でのCF活用実態
 - 多くの団体では活用経験ないが、コンテンツ開発資金確保の一環として一部で活用実績あり
 - CF事業者側では、NPO等にアドバイス・サポートを行う人材が不足している状況

具体的な実施事項

- NPO等への周知・勉強会開催
- 協力者拡大のための広報活動
- CF事業者における人材育成

3. 平成30年度のテーマ案

(1) 各論点の扱いに関する整理

調査事業からの提言

- ① 広域・大型イベントをフックとしたネットワーク構築・連携促進
- ② 広域地域資源（三陸ジオパーク）の活用
- ③ プラットフォームの設置・活用
- ④ 地域外での交流会等の開催
- ⑤ インバウンドの誘客活動拡大
- ⑥ クラウドファンディング（CF）活用

民泊、漁農業等の産業体験、研修学習など「観光産業では手の届かない分野でのNPO団体、地域団体が行っている誘客活動の促進」に資するよう、調査・分析、普及・展開、提案を行うことを目的とした調査を実施した。

平成30年度の活動イメージを描くための検討事項

▼ 関係人口に関する認識について

- ・各セクターが関係人口の拡大によって何を求めるのか
- ・各セクターが他組織等と連携を要する分野（復興、防災、地域活性、なりわい・にぎわい創出 etc.）

▼ 重点地域および領域について

- ・本委員会で重点を置くべき地域（岩手三陸地域、内陸、県全域 etc.）
- ・6つの提言を以下のいずれかに分類をして、活動するテーマとして扱う領域を絞り込む
 - a. 他事業の取り組み等に委ね、情報共有にとどめるもの
 - b. 意見交換会参加団体が個別に取り組むもの
 - c. 平成30年度岩手県意見交換会のテーマとして取り上げ、活動を行うもの

3. 平成30年度のテーマ案

(2) 広域・大型イベントや地域外交流会等の活用について

① 広域・大型イベントを軸とした ネットワーク構築・連携促進

- 予定される広域・大型イベント
 - ✓ 「三陸防災復興プロジェクト2019」、「ラグビーワールドカップ2019」等
 - ✓ 交通インフラ整備、地域の注目度急上昇、国内外からの来訪者急上昇が見込まれるこの機会が、コンテンツ・顧客づくりを行う好機

具体的な実施事項

- ✓ 各NPO等団体のコンテンツの内容充実
- ✓ 団体同士の連携強化の取組
- ✓ 来訪者の周遊・回遊を促す広域コンテンツ開発

④ 地域外での交流会等の開催

- 地域外での交流の維持・拡大
 - ✓ 東京等大都市圏での接点づくりは関係性維持やコンテンツ利用者開拓に有効
 - ✓ アイデアソンや体験イベントも加えた既存の復興庁事業は、関係性の維持拡大に加えてNPO等が新たな気づきを得られる場としても有効

具体的な実施事項

- ✓ 既存の取組（れんぶく、各NPO等）の継続
- ✓ 復興庁事業（Fw：東北Weekly等）の活用

平成30年度の活動イメージを描くための検討事項

▼ 広域・大型イベントの活用について

- ・前頁の論点で挙げた、重点地域および分野との関連性における活用イメージ
- ・前頁の論点で挙げた、関係人口拡大やセクター間での連携促進に資する活用イメージ
- ・その他の活用イメージ

▼ 地域外での交流会等の開催について

- ・東京等大都市圏での接点づくりによって構築したい関係とは
 - a. 関係を構築したい相手のイメージ（コンテンツ利用者、諸活動の担い手 etc.）
 - b. どのような関係を生みたいか／維持したいか
 - c. 関係を構築できた相手が岩手でどのように動くことが望ましいか

3. 平成30年度のテーマ案

(3) 今年度のテーマを決める

▼テーマと成果について

- ・ テーマ・目的の設定（本意見交換会で立てる「問い合わせ」を定める）
- ・ 成果の設定（何が達成できればよいか）

▼ 実施メニューを決める

- ・ Fw:東北Weeklyの活用
 - a. アイデアソン、セミナー、シンポジウムなどの形式
 - b. 東京開催か県内開催か
- ・ 岩手復興局事業の活用
 - a. 昨年度同様、岩手復興局事業の活用を想定するか
 - b. その場合、どのような企画で進めるか
- ・ 次回以降の意見交換会に参加を要請すべきセクター、団体等